

76. 一般救急-精神科救急連携による地域連携パス構築に関する実務者アンケートの実施

研究の概要

申請者は、厚生労働科学研究（障害者政策総合研究事業）における「精神科救急医療における質向上と医療提供体制の最適化に資する研究（研究代表 杉山直也）」に参加し、分担研究として、「精神科救急と一般救急の医療連携体制強化による医療の質向上と医療提供体制の最適化」に関する調査研究を実施している。その目的は、精神科救急と一般救急の医療連携体制強化であり、その一環として、今年度は「一般救急—精神科救急連携による地域連携パス」の素案構築を目指している。

精神科救急と一般救急の医療連携体制強化を考えると、すでに実臨床で行われている連携業務の標準化を図る取り組みは重要であり、身体合併精神科症例（例、精神科病院に入院している患者さんがイレウスや大腿骨頸部骨折に罹患）に関する一方向性連携パスの作成に取り組むことは連携円滑化に資すると考えられる。

従来、精神科領域においても統合失調症や気分障害（うつ病他）など、疾患別に地域連携パスを構築する試みはあった。これらは退院支援の一環として実施されることが多く、患者を中心として、医療や在宅支援サービスなどとの間で実施されることが多い。このほか、認知症については専門施設である精神科と、かかりつけを担う一般科との間で、循環的な連携促進のためパスが導入されることもある。その一方、身体合併症を有する精神科患者の地域連携については、自殺危機介入に関する試案の提示はあるが実務報告はほとんどない。このように、身体合併精神科症例に関する実効的なパス構築はなされていない。

また、全国的に身体合併精神科症例の対応は、一般救急側、精神科救急側の双方で困難を抱えやすいといわれる。ひとつには、一般救急医療と精神科救急医療とのコミュニケーションのむずかしさ、相互の不安があると指摘されており、今回構築を目指す地域連携パスの中では、平成29～30年度厚生労働科学研究障害者政策総合研究事業 分担研究「精神科救急及び急性期医療における一般救急医療との連携の構築に関する研究」成果物であるJapan Emergency Psychiatry Scale- Expert opinion version(JEPS-Ex) を用いることで、精神心理的な側面に関する情報を簡便に伝達出来るように考えており、この点にも今回研究の新規性がある。

これらの背景をもとに、分担班では地域連携パスの構成要素を精査した（別添アンケート参照）。本パスは、身体合併精神科症例の治療において、円滑な地域連携が可能になることを目的としている。このため、入院中に活用される疾患別のクリティカルパスとは異なり、身体合併精神科症例が施設から施設へと移動する際、標準的に網羅されるべき項目を並べる構造をとる。また、かかりつけ精神科を持つ症例の

身体合併症対応を想定するため、救急病院他の治療施設を経てUターンする流れにおける連携円滑化に資する構造を狙う。

これらの構成項目が妥当なものであるか、パスを実際に利用して患者の治療・ケアにあたる実務者からの意見聴取は必須である。このため、今回、実務者に対するアンケート調査の実施を計画する。

研究の目的と方法

研究対象件数：受講者50名以上、見学者20名以上の回答を目標とする。

回答者は、一般救急—精神科救急連携に関する連携課題について実際的な問題意識を有している必要がある。また、全国より広く意見を募る必要もある。このため、一般救急医療部門における精神科疾患の初期評価方法を学ぶ教育コース (Psychiatric Evaluation in Emergency Care、以下PEEC) への受講者ならびに見学者を調査対象とする。PEECコースは、有料で、自己研鑽のために参加する教育コースであり、受講者は連携課題について常に実務上直面することが受講契機となることも多く、一般救急側、精神科救急側の受講者が同時に参加するため、調査場面としては適切と考えられる。

方法としては、コース受講者もしくは見学者に対してアンケート調査用紙を配布し、回答者が記入し提出することでもって調査同意とみなす。択一式の質問項目が20個、自由記載欄が1か所であるため、回答時間は7分程度を設定する。

実施場所及び実施期間

実施場所：宮城県仙台市（日本精神科救急学会公開PEECコース）、岡山県倉敷市（日本総合病院精神医学会公開PEECコース）、熊本県熊本市（第26回・第27回熊本PEECコース）、長崎県佐世保市（第4団長崎PEECコース）、神奈川県横浜市（第19回横浜PEECコース）ほか。

研究対象期間：令和元年10月19日～令和2年3月31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和2年3月31日まで

本審査提出日から、2020年3月末までの期間、全国で実施されるPEECコースのなかで、主催者から調査協力同意を得られたコースとする。

研究代表者

精神科 橋本 聡

当院における研究責任者

精神科 橋本 聡

問い合わせ先

精神科 橋本 聡

TEL: 096-353-6501